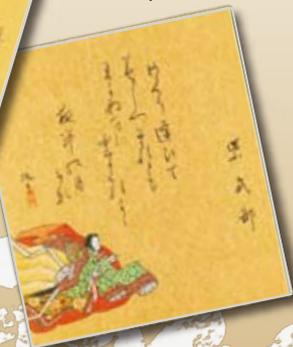




藤枝市文学館第29回企画展

# 青木幽溪 百人一首展

書と画が織りなす雅な世界



2011年12月22日(木)～2012年2月5日(日)

同時開催：郷土博物館企画展「龍の郷土玩具」

藤枝市郷土博物館・文学館

〒426-0014 静岡県藤枝市若王子500番地(蓮華寺池公園内)

TEL:054-645-1100 [http://www.city.fujieda.shizuoka.jp/kyodomuse\\_index.html](http://www.city.fujieda.shizuoka.jp/kyodomuse_index.html)

- 開館時間：午前9時～午後5時
- 入館料：大人200円、中学生以下無料(博物館・文学館共通)
- 休館日：月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日、12/28～1/4
- 交通案内：JRの場合…JR藤枝駅から「新静岡行」バス10分、「蓮華寺池公園入口」下車、徒歩5分／お車の場合…国道1号緑町交差点経由、または藤枝バイパス(東から) 藪田東IC、(西から) 谷稲葉IC 経由

# 青木幽溪 百人一首展

書と画が織りなす雅な世界

あおきゆうけい  
青木幽溪は、明治39年(1906)、静岡県志太郡高洲村(現・藤枝市)に生まれました。本名は桜井操(のちに青木姓となる)。幼い頃から書や日本画に親しみ、書家として活躍しました。県内外で60回以上の個展をはじめ、アメリカでの個展開催など、海外での評価も高く、現地の新聞に大きく取り上げられたこともあります。昭和54年には、ワシントン州タコマ市名誉市民になりました。数々の受賞歴のほか、書道団体の重鎮として後進の指導にも尽力し、書家の沖六鵬や桜井琴風とも交流がありました。幽溪が手がけた隷書・楷書・行書・草書の『四体千字文』や、『慶弔と手紙実例集』、『以呂波加留多 解釈付習字読本』などの著書は、今でも実用書として利用されています。

中でも幽溪が遺した「小倉百人一首」の色紙は、絹や金潜色紙に和歌と歌人が描かれたとても美しいものです。書体の美しさもさることながら、書家でありながら日本画にも造詣が深かった幽溪ならではの作品です。企画展では、子どもから大人まで、日本人になじみの深い百人一首を中心に、幽溪の書画の世界を紹介します。雅な和歌の世界を美しい書と画で楽しみませんか。



小倉百人一首九番歌 小野小町



小倉百人一首五十五番歌 前大納言公任



青木幽溪書「百年書法裏 萬事酒盃中」



青木幽溪画「雪月花」三部作のうち「花」

## 青木幽溪 略年譜

明治39年 静岡県志太郡高洲村に生まれる  
 大正 9年 水野染二に日本画を師事、小泉松塘に書を師事  
 昭和15年 大内枝翠に書を師事、東方書道会展入賞、泰東書道会展入賞  
 昭和18年 大日本書道報国展特選、日本書道会より日本代表として大東亜書展に出品  
 昭和21年 手島右卿に書を師事  
 昭和23年 日展五科書道第一回展入選(以後不出品)  
 昭和47年 静岡県文化奨励賞  
 昭和50年 学術文化功勞により静岡県知事表彰



昭和52年 勲五等瑞宝章  
 昭和53年 芸術文化功績により総理大臣招待  
 昭和54年 米ワシントン州タコマ市名誉市民章  
 平成 5年 全国篤志面接委員連盟表彰状(代表)  
 平成16年 9月20日逝去(98歳)

## 小倉百人一首かるた試合実演

県立金谷高校百人一首部(全国大会個人戦ベスト8)によるかるたの試合実演です。本格的な競技かるたをお楽しみください。

とき/2012年1月7日(土) 午前11時~、午後3時~

ところ/文学館展示室

※申込不要。入館料大人200円(中学生以下無料)が必要です。

